

市議会だより



6月定例会

令和7年（'25）年8月1日発行



小針領家のささら獅子舞
(市指定無形民俗文化財)

主な内容

- ◎ 6月定例会
議案審議 2ページ
- ◎ 採決結果 3ページ
- ◎ 一般質問（16人）
4～11ページ
- ◎ 議会からのお知らせ
編集後記ほか 12ページ

◆ 6月定例会日程 ◆

- 6月 5日 開会、市長の行政報告、市長提出議案の上程及び説明、市長提出議案の質疑及び委員会付託
- 10日 総務常任委員会
- 11日 民生経済常任委員会
- 13日 一般質問（山中・細谷・渡邊光子・岩崎・糸井）
- 16日 一般質問（砂川・渡邊広美・浦田・仲又・にいつま）
市長追加提出議案の上程及び説明
- 17日 一般質問（近本・北村・榊・渡辺まや・須山）
- 18日 一般質問（江森）
- 20日 市長提出議案の委員長報告・質疑・討論及び表決、市長提出議案の質疑・討論及び表決、市長追加提出議案の質疑・討論及び表決、市長追加提出議案の上程・説明及び表決、委員会提出議案及び議員提出議案の上程、説明、質疑、討論及び表決、閉会

議案審議の条例等

令和7年第2回（6月）定例会は、6月5日から6月20日までの16日間開催されました。今定例会では、市長提出議案14件、議員提出議案2件が提案され、審議されました。

条例等

各常任委員会に付託された条例等についての審査で、主な質疑は次のとおりです。

桶川市税条例等の一部を改正する条例

地方税法等の一部改正に伴い、必要な改正をするものです。

問

加熱式たばこの課税方式の改正理由と背景を伺う。

答

加熱式たばこは、紙巻きたばこの代替として広がっていますが、税負担が紙巻きたばこより低いため、公平性に欠ける課題がありました。そのため、課税の適正化を目指して、課税方式が見直されました。

問

加熱式たばこの課税方式が改正されることによる市の税収への影響を伺う。

答

改正による影響は、令和8年度から生じます。本市では、令和6年度のたばこの売渡し本数が約6,700万本あり、そのうち加熱式たばこが約2,000万本と想定されます。改正後、加熱式たばこの紙巻きたばこへの換算方法が変更されることで、本数が増える方向に見直されています。仮に令和6年度と同じ売上げで、換算本数が10%増えた場合、税収は約1,300万円増える見込みです。



桶川市道の駅整備事業者選定委員会設置条例を廃止する条例

問

道の駅に関する要望や運営状況を話し合うための委員会の設置予定はあるのか伺う。

答

管理者との定例会議を行い、情報共有を図っています。

また、指定管理者モニタリングの実績評価にて、他の指定管理施設と同様に評価を行う予定です。そのため、道の駅の指定管理単独で、要望や運営状況を話し合うための委員会を新たに設置することについては、市全体の指定管理とのバランスも考慮しながら協議します。

議員提出議案

「適格請求書等保存方式（インボイス制度）の廃止を求める意見書」の提案がありました。賛成少数で否決となりました。

（要約）

適格請求書等保存方式（インボイス制度）は、施行から1年が経過したが、小規模事業者などからは、税負担増や減収による経営状況悪化や、インボイスに係る経理事務の負担を訴える声が噴出している。

令和5年9月には、当事者らの声として、フリーランスや小規模事業者などで構成する民間団体が中心となつて集めたインボイス制度の反対署名約54万筆が当時の岸田文雄首相国会事務所に届けられている。

インボイス導入後、多くの事業者の苦境や昨今の経営を取り巻く環境、反対の訴えに鑑みれば、

国の支援措置の拡充だけではもはや不十分であり、小規模事業者等の経営の持続化や経済の活性化の重要性を考えると、インボイス制度そのものを廃止することが最良の策であると言わざるを得ない。

よつて、国におかれては、中小企業・小規模事業者の事業存続や日本経済振興、ひいては国民の生活を守るため、インボイス制度を廃止することを強く要望する。

議会運営委員会提出議案「給食無償化に際し、質・量の確保を担保するための国による十分な予算措置を求める意見書」は、全会一致で可決し、関係機関に提出しました。

学校給食は、成長期にある児童・生徒の心身の発達において、極めて重要な役割を担うものである。子どもたちの日常的な食事の約3分の1を占め、食育の推進において中核的な存在である。したがって、給食の質を向上させるため、地産地消

の推進や有機食材の活用拡大が強く求められている。

政府は、2050年までに化学農薬・肥料の使用量削減と有機農業の拡大を目指す「みどりの食料システム戦略」を推進している。また、令和8年度から小学校における全国一律の給食無償化の実施、および中学校についても可能な限り早期無償化の方針を示している。

しかしながら、有機食材の単価は高く、食の生産者である農業従事者は儲からないことや高齢化により減少の一途をたどっている。また、近年の物価高騰は、自治体の給食予算を圧迫し、質と量の確保を困難にしている。さらに、昨年から米不足は、この状況に拍車をかけている。

このような状況から、国による給食無償化の実施にあたっては、すべての児童・生徒の健やかな成長を促すため、十分な予算措置を講じるとともに

議案審議／採決結果

に、自治体格差が生じないよう下記の事項について特段の取り組みを強く求める。

記

1 給食無償化の実施にあたっては、物価高騰等の影響により給食の質や量が低下することのないよう、国による適切な制度設計と十分な予算措置を講じること

2 地産地消の推進、有機食材の使用拡大など、質の高い給食を安定的に提供できる体制を構築すること

補正予算

国・県の制度改正等により必要となるもので、主な質疑は次のとおりです。

《公共下水道事業会計補正予算》
(第43号議案)

1,100万円

下水道等に起因する道路陥没事故を未然に防止するため、大規模下水道管路特別重点調査を実施するものです。

問

調査対象は市内に何か所あるのか。

答

国の示す調査基準で対象となる施設は、本市では、内径2m以上の雨水管のみです。路線としては、5路線あります。

(第47号議案)

《水道料金軽減支援補助金》

5,061万1,000円

物価高騰対策の国の交付金を活用し、水道料金の基本料金を2か月分減免するための経費を桶川北本水道企業団に補助するものです。

問

水道料金の減免を選んだ理由を伺う。

答

国の交付金の内示額は多くはないため、多くの人を対象とし、かつ事業費の多くを支援に回すことのできる事業を選びました。電気やガスは国が支援を行っているため、国の政策と市の政策を併せて行うことで、より幅広い人に支援ができると考えます。

人事関係

教育委員会委員を同意

西永 和子 氏 (第49号議案)

監査委員を同意

榎本 幸雄 氏 (第50号議案)

江森 誠一 氏 (第51号議案)

固定資産評価審査委員会委員を同意

漆間 幸子 氏 (第52号議案)

固定資産評価員を同意

片岡 輝政 氏 (第53号議案)

人権擁護委員を承認

中野 波津巳 氏 (諮問第1号)

白根 勉 氏 (諮問第2号)

6月定例会の採決結果

◆ 次の議案は全会一致で可決・同意・承認されました。

議案番号	議案名	議案番号	議案名
第42号	令和7年度桶川市一般会計補正予算（第2回）	第50号	監査委員の選任について（榎本幸雄 氏）
第43号	令和7年度桶川市公共下水道事業会計補正予算（第2回）	第51号	監査委員の選任について（江森誠一 氏）
第44号	桶川市税条例の一部を改正する条例	第52号	固定資産評価審査委員会委員の選任について（漆間幸子 氏）
第45号	桶川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び桶川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	第53号	固定資産評価員の選任について（片岡輝政 氏）
第46号	桶川市道の駅整備事業者選定委員会設置条例を廃止する条例	諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（中野波津巳 氏）
第47号	令和7年度桶川市一般会計補正予算（第3回）	諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（白根勉 氏）
第48号	桶川市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例等の一部を改正する条例	委第2号	給食無償化に際し、質・量の確保を担保するための国による十分な予算措置を求める意見書
第49号	教育委員会委員の任命について（西永和子 氏）		

◆ 賛否が分かれた議案は次のとおりです。 ※議長は採決に加わりません

議案 番号	議 案 名	議決結果	新 政 会					おけがわ未来			立憲、国民、維新の会			公明党			ともに 生きる会		無 会派
			渡 辺 ま や	砂 川 和 也	糸 井 政 樹	岡 安 政 彦	江 森 誠 一	榊 萌 美	須 山 陽 一 朗	山 中 敏 正	近 本 あ ん な	細 谷 文 人	佐 藤 洋	に い つ ま 亮	仲 又 清 美	渡 邊 広 美	岩 崎 隆 志	北 村 あ や こ	浦 田 充
議第1号	適格請求書等保存方式（インボイス制度）の廃止を求める意見書	否	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	議長 ○	×	×	×	○	○	×

※表の見方 賛成：○ 反対：× 欠席：欠 除斥：除 退席：退
除斥…議員は直接の利害関係にある議事には参加できないとする制度のこと。関係事案の審議に際しては退場しなければならない。
退席…議員個人の判断で、採決前に議場の外へ出ること。

一般質問の内容については、
議員本人が編集したものです。

一般質問

桶川市の市営自転車駐車場について



山中 敏正

おけがわ未来



問 市営自転車駐車場を取り巻く環境について伺う。

答 市営自転車駐車場整備後と、現在においての市内放置自転車台数の状況を比較すると、平成16年度では、年間約800台を撤去していましたが、令和6年度では、年間で約30台と、この20年で約96%減少しています。また、桶川駅利用者

問 各自転車駐車場の利用率・収支状況について伺う。

答 利用率は、3施設とも、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた、令和2年度及び令和3年度は、令和元

年度と比較し、約10%の減少となっています。次に、収支状況ですが、

いずれの自転車駐車場も令和3年度以降、赤字幅は増加傾向になっています。特に駅西口地下自転車駐車場については、令和2年度以降、一千万円を超える赤字額を計上している状況です。

問 駅西口地下自転車駐車場の今後の方向性について伺う。

答 施設の機能を、駅西口第一自転車駐車場に集約し、自転車駐車場としての機能を廃止する方向で進めます。

問 アライグマ排除への取り組みについて

市内における捕獲数の推移につい

て伺う。

答 令和3年度に初めて100頭を超え、捕獲数は108頭となり、今後は増加するおそれがあるものと考えています。

問 農作物被害の未然防止を図るための補助事業への取組について伺う。

答 補助事業を含め、どのような施策が必要か検討します。

侵入窃盗対策について

問 令和7年の被害件数を伺う。

答 一月から四月までの埼玉県警察の暫定値となりますが、市内で発生した「住宅対象の侵入窃盗被害」の件数は、19件となっています。

問 防犯対策を実施する市民の方に対して、費用補助を進め

答 べきと考えるが、如何か。他自治体の事例や課題を調査・研究し、検討します。

利便性向上のために、東部にも期日前投票所を



細谷 文人

立憲、国民、維新の会



問 期日前投票所を東部にも増設することに対する課題の一つに、投票立会人の確保があるというが、公募を実施したらどうか。そして、従事時間を柔軟に設定するなど要件を緩和したらどうか。

答 他市の事例を参考に、前向きに検討します。

問 場所の確保にも課題があるというが、坂田コミュニティセンターはどうか。ただ、市民の方の活動が難しくなることもある。そこで、例えば、ロビーを利用するとともに、隣接するスーパー「カスミ」のフードコートも投票所としてお借りし、坂田図書館のテラスを投票用紙等の保管場所として利用するの

かどうか。

答 スーパー「カスミ」は民間施設のため、十分に相手方との話し合いが必要となり、図書館についても今後検証します。

桶川駅西口ペデストリアンデッキ通路の耐震診断について

問 以前質問をした時、「今時点の耐震基準を満たしているのかどうか分からない」との答弁だった。大地震が起きるたびに、道路・橋梁の耐震基準は何度も更新されており、安全性が格段に強く求められている。現時点での耐震性能について調査は必要不可欠だし、結果によっては補強も必要ではないか。建築物ではない

答 建築物ではない

ため、建築基準法に位置づけられた耐震診断は実施していません。

問 前回の質問のときも、「当該ペデストリアンデッキは工作物であり建築物ではないため、耐震診断は実施しない」という答弁だった。工作物と言うだけで、耐震診断を実施してはいけないなどという法的根拠があるのか。

答 工作物の耐震診断を妨げる法的根拠はありません。ただ、5年に1回の橋梁点検は実施しています。

問 定期点検と耐震診断は異なる。定期点検では、耐震基準を満たしているのか判断は難しい。耐震診断も行うべきと思うが、いかがか。

答 令和6年の7月に「橋梁定期点検要領」が改正され、新たに地震に関する評価項目が追加されました。今後それに基つき、地震に関する備えも検討していく考えです。

議員名の下にQRコードを掲載しました。スマートフォンなどのアプリで読み取り、各議員の一般質問を映像でご覧いただけます。

広報の戸別配布から同時配布除外された 申込み減の交通災害共済加入申込書



渡邊 光子

無会派



問

令和7年2月号より広報配布方法がシルバー人材センターに委託して、戸別配布に変わった。これまでは広報配布時に議会日より水道日より・ごみ収集日程表・交通災害共済加入申込書等も同時に配布していたが、一部同時配布が行われていない状況で伺う。

答

令和6年度では14種類の同時配布物がありました。広報紙の配布方法が自治会配布からシルバー人材センターへの委託に変わるのを機に、現在は秘書広報課で3種類、庁内関連課で4種類、市役所以外の機関で3種類の合計10種類の同時配布物となっています。

議会日より、水道だより、ごみ収集日程表等は、現在も広報と同時配布を継続していますが、交通災害共済加入申込書については、担当課において見直しをした結果、広報と同時配布は廃止しました。

交通災害共済加入申込書の情報周知として、広報3月号に関連の記事を掲載しました。

交通災害共済加入申込書は、庁舎内では、安心安全課、市役所本庁舎1階エレベーター前のラック、2階情報コーナーのラックに配置して周知をしています。

加えて、市内郵便局等でも交通災害共済加入申込書を配置し、申込受付もしています。今後、市民の皆様へ一層の周知を行っていきます。

下日出谷児童公園 グリーンガーデンの安全管理について

問

公園の東側には幼児等の遊具があり、ここを囲む北側、東側等の坂の部分は、地域自治会の管理では危険等の事で、桶川市が管理している。管理とは名ばかりで、現在は放置したままで、遊具で遊ぶ児童の姿を隠すように、植樹の木が柵よりも1mも高く伸びている。安心安全な植樹の管理と約50cm間隔の2段の柵を25cm間隔に整備する事を伺う。

答

北側ののりの植樹は、剪定・伐採等をして、視認性を確保しました。東側、東南の角地の植樹は伐根して、のり部分には防草シートの張り替えを実施します。幼児用遊具のある北側の柱とロープの柵の安全性確保は、可能な範囲でネット等で対応して子どもが落ちないような形の処置を考えています。

トランプ関税2.0が桶川市の家計に与える 影響と物価高騰対策について



岩崎 隆志

公明党



問

桶川市は、トランプ関税2.0が市民の家計に与える影響をどう認識しているか。また、市民生活安定のためどのような対策を講じる予定か。経済変動に関する正確な情報提供や相談対応について伺う。

答

トランプ関税2.0による世界経済の不透明な状況が、日本の輸出企業や地域経済に影響を与え、市民の賃金減少や生活費高騰を懸念しています。特に原油価格高騰や円安による原材料価格の上昇と関税の影響が重なり、食料品や電気・ガス料金のさらなる値上がりが見込まれます。対策として、市は国の経済政策と連携し、交付金を活用して住民税非課税世帯や子育て世帯向け



デジタル時代の共生モデルを目指す桶川市のAI活用について

問

桶川市における市民サービスへのAI活用計画、AI導入による業務効率化と職員の働き方・育成に関する市の考え方、AI活用推進における安全性確保、データ活用、市民への情報提供に関する市の認識と対応方針について伺う。

答

桶川市は市民サービス向上と業務効率化のため、AI導入を検討しています。AIチャットボットや生成AIを活用し、議事録作成や文章作成の自動化を目指します。

データ安全性と職員研修を重視し、個人情報漏洩や誤情報のリスク対策も講じながら、365日対応の市民サービス実現に向け、他自治体の事例も参考に検討を進めています。

倉田地区の諸課題について
(地域課題)



糸井 政樹

新国会



問

倉田地区にお住まいの市民の方々からいただいているご相談の中から、今回は安全面の事を伺う。新幹線の高架周辺、伊奈町との境界線も近い所だが、休耕地も多く以前は火災も発生した。草刈り等も含め、この地域の安全確保について市の見解を伺う。

答

当該地域については、現在休耕地も多い状況です。火災の発生やごみの不法投棄、病害虫の発生など、近隣の住民や農地に悪影響を及ぼすものと考えており、危険の発生が想定される場合には、農地の所有者や管理者に対し、適正管理を実施するよう対応をしていきます。

問

上尾市の民地と接続している所、

答

いわゆる倉田団地に入る道路、そして団地の中の道路は、大変狭隘で消防車や救急車の進入も難しい状況だ。防災面からも市の見解を伺う。

問

1963年に立案された都市計画道路である第二産業道路だが、まだまだ桶川に入ってから線までの計画はどのようになっているのか、県からの報告はあるのか。

答

また、この計画決定により線引きされた地権者はお困りでないのか。

問

線引きされた土地は、新築や改築の売買等制限されているものなのか。

答

移転や除却しやすいため、土地の売買については、法律に基づき、売主となる所有者が事前に市に届け出なければならぬ事となっています。

道の駅を会場とした
べに花まつりについて



砂川 和也

新国会



問

べに花まつりを道の駅で行う目的と効果を伺う。

答

べに花まつりは、ベニバナをシンボルとしたまちづくりを進めるために開催しました。

答

また、今年初めて道の駅を会場としたことで、イベントのにぎわいが増し、本市の魅力を広くPRできた認識しています。

問

祭り開催時の渋滞対策を伺う。

答

今年度も城山公園多目的広場を臨時駐車場に使用し、道の駅運営事業者と連携して警備や誘導体制を強化し、混雑に対応しました。

問

周辺施設との一体感の創出を伺う。

答

道の駅をメイン会場として連絡通路を設けることで移動が

問

スムーズになり、ステージを中心に配置したことと一体感を高めました。

答

より充実した祭りにするために駐車場有料化の見解を伺う。

問

近隣自治体において駐車場を有料にしている祭りもあることから、今後、事例を参考に研究してまいりたいと考えています。

答

令和の米不足から見た桶川の農業政策について

問

全国で考えた場合の桶川農業の位置づけについて伺う。

答

本市は、広域交通網の優位性を生かし、多彩で安定的な経営を行える都市近郊農業と位置づけられます。

問

本市データから見た農地活用の可能性について伺う。

答

農業センサスによると平成12年の調査と比較して令和2年は、農家数、経営耕地面積が減少しています。

答

この背景には担い手不足があり、遊休農地の増加が進んでいます。

問

今後農業従事者への支援を継続し、大規模農家への農地利用集積を進めることで、持続可能な農業の実現を目指します。

答

令和6年度に旧制度が廃止され、新たな法律に基づいた、農地中間管理機構による制度に一本化されました。

廃止に伴い大規模農家の利用集積が進んだことで、令和5年度と比べて集積面積が増加しました。

議員名の下にQRコードを掲載しました。スマートフォンなどのアプリで読み取り、各議員の一般質問を映像でご覧いただけます。

道の駅に関する市民の声について



渡邊 広美

公明党



問 渋滞する駐車場について伺う。

答 道の駅運営事業者が車両誘導計画を見直し、駐車場内の空きスペースの活用等、スムーズな誘導によりおむね改善されています。

問 ドッグランの地面素材の選定について伺う。

答 犬の肉球や足腰への負担を軽減するためクローバーを選定し、種子の吹きつけを行いました。定着に至らず、運営事業者と調整しています。

問 小型犬エリアのすり抜け防止対策について伺う。

答 応急措置としてコーンを設置しておりますが、改善につきましては、運営事業者と

調整し対応します。

問 ドッグランのルール等、視覚障害者や外国人にも分かりやすいよう、音声アナウンスについて伺う。

答 運営事業者と協議して検討します。

ヤングケアラー支援について

問 学業や生活への影響がある児童生徒に対しての支援体制について伺う。

答 悩んだときや困ったときに、相談

問 先が分かるカードを小中学校の夏休み前に配布する準備をしています。

答 ヤングケアラーサポートクラスの実施について伺う。令和6年度に桶

川小学校において6年生113名を対象に実施し、過去にヤングケアラーだった方からの話を伺うとともに、劇を通して学びました。

問 ヤングケアラーサポートクラスに参加した児童の反応、効果について伺う。

答 実施前は約7割の児童がヤングケアラーという言葉を知らなかったが、実施後には8割以上の児童が新たに理解を深めました。

問 本市のラインによる相談の導入について伺う。

答 先進自治体を参考にし、子供が相談しやすい環境づくりについて調査研究します。

問 障害者があり、日常的なケアを担う子供に対する支援について伺う。

答 福祉総合相談窓口があり、支援内容を検討し、福祉サービスや家事支援、生活相談などにつなげています。

停電対策、もっと公助の力を！



浦田 充

ともに生きる会



問 生命維持に不可欠な医療機器を使用している方に、ポータブル蓄電池の購入助成がでないか伺う。

答 在宅酸素が必要な方は、その呼吸器が保険診療の対象で、第一に医療機関が対応することとなっています。その補助的利用を目的とした蓄電池について、日常生活用具として給付の対象としています。

問 障害等により素早い避難が難しく、冷房の使用が不可欠な方に対して、蓄電池の購入助成や貸出がでないか。

答 国が作成した熱中症環境保健マニュアルでは、個人的な対策を含め、停電が長引く場合は、高齢者、子供、障害者の方々は、冷暖房

設備が整った避難所を検討すると示されています。

問 エアコンについては、医療機関などの支援が受けられない。積極的に検討できないか。

答 国のマニュアルでは、言及しておらず、自衛手段として、ふだんからご用意いただく対応をお願いします。

駅東口のユニバーサルデザインについて

問 ローターリ完成後も自由通路の階段の位置は変わらないか。

答 階段の位置については、現行のままで、階段付近にタクシー乗降場を、エレベーター付近に車椅子対応の乗降場を整備する計画です。ルート上、エレ

ベーターのほうが近ければ、エレベーターに利用が集中することも考えられるが、一般の方を階段やエスカレーターに誘導する案内表示は考えているか。

答 エレベーターのところからエスカレーターが直接目で確認できる範囲にありますので、待てない方は、エスカレーターのように回ってもらう形で対応します。

市役所内における視覚障害者への配慮について

問 視覚障害者にとどのような合理的配慮を行っているか。

答 ピロティー及び市道南側の入り口から総合案内まで誘導ブロックを設置しています。また、総合案内では担当者にご用件をお聞きするなど個別に対応し、利用の円滑化を図っています。

一般質問

一般質問の内容については、議員本人が編集したものです。

5歳児健診の導入について



仲又 清美

公明党



問

国が令和10年度までに求める5歳児健診の実施に向けての本市の進捗状況は。

答

国や県の研修に参加し、効果的な5歳児健診の実施に向けて研究しています。

問

平成17年度から市議会公明党は、

5歳児健診の必要性を訴えてきた。市は、幾度も国の動向や近隣市の取組を研究すると答弁した。国も必要性を感じ、令和5年度補正予算で、5歳児健診を新たに創設した。国は、発達障害等を早期に発見し、就学前に必要な支援に繋げるため、全国の自治体の実施を目指し、支援の強化を始めた。

本市は、どれだけ調査研究を重ねたら実現がで

答

実現に向け、研究が必要と考えているため、どれだけということでは、具体的に示しはできません。

問

残念でならない。平成17年度から訴えてきた。国も、お金も出すと動いた。

5歳児健診の重要性を市当局が分かっている。3歳から5歳までは、育ちの環境によっても個人差が出る年齢で、発達に問題があることに気がつかないケースもある。就学してから発達に個人差が出るかもしれない。

答

国の令和10年度までの目標に対し、準備ができていないのか。医師等の確保や、体制の構築等、調

査研究をして、導入に向けて努めてまいります。

障がい者の乳がん個別検診について

問

広報6月号と一緒に「桶川市集団がん検診ご案内申込書」が配布された。

その中で、集団がん検診を受診できない方の条件項目に、自力で立つていられない、介助がないと動けない、(認知症で)理解困難と記載されている。

障害があっても、命はみな同じだ。上尾市では、集団検診で、乳がん検診を受診することが困難な方には、「身体障害者乳がん検診費用助成事業」として、個別検診のクーポン券を交付している。

希望者が安心して受診ができる体制は、好ましいと考えます。上尾市を参考に研究してまいります。

答

希望者が安心して受診ができる体制は、好ましいと考えます。上尾市を参考に研究してまいります。

若者の挑戦を支える第三の居場所へ

「家庭でも学校でもない「心地よい場所」。若者の可能性が広がるサードプレイスを、桶川でも」



にいつま 亮

立憲、国民、維新の会



問

サードプレイスの意義と必要性、市の認識について伺う。

答

は、家庭や学校以外の心地よい空間として重要であり、若者の孤立防止や社会的つながりを支える場として意義があると認識しています。

問

市内における若者向けサードプレイスの把握状況、当事者の声を反映した取組について伺う。

答

図書館、公民館、子ども食堂などが該当施設としてあり、高校生向け調査では「自由に過ごせる場」へのニーズが把握されたことから、学習や交流の機会提供に努めています。

問

若者の挑戦の出発点となるサード

問

プレイス設計と支援方針について伺う。

答

講座や交流を通じた新たな挑戦・成長の場として捉えています。地域活動等への参加を通じて、若者の意欲や視野の拡大につながると考えています。

問

他の自治体の若者参画施策を参考に、今後の整備や方向性について伺う。

答

埼玉県のパーク・ユースセンターなどを参考に調査研究を進めていきます。

問

また、今後整備予定の日出谷地区新拠点では、多目的な居場所機能の確保を検討していきます。

「つながる給食」から育む学びと地域交流

問

物価高騰が続く中、学校給食においては、栄養価や地元食材、メニューの多様性など、教育的観点からの優先順位を明示する必要があると考えるが、市の見解を伺う。

答

本市では栄養価の確保と給食の質の維持を最も重視しています。安定的かつ持続可能な運営と食育の視点も踏まえ、今後も取り組んでいきます。

問

地産地消の拡大に加え、友好自治体の特産品(飯豊牛)などを給食に使い、地域交流を深める取組を進めることで、子どもたちが地域のつながりを実感する機会にもなると考えるが、市の見解を伺う。

答

「桶川給食の日」を月1回、地元農産物活用を推進中です。

また、友好自治体の特産品の活用も、交流の機会に有効になると認識しており、実現に向けた調査研究を進めていきます。

議員名の下にQRコードを掲載しました。スマートフォンなどのアプリで読み取り、各議員の一般質問を映像でご覧いただけます。

#不登校#行き渋り支援#子どもの居場所づくり#フリースクールと連携



近本あんな

立憲、国民、維新の会



問

小中学生の不登校者数を伺う。

答

在籍に対する割合は23%。中学生は105人で60%です。

問

「学校が苦手な児童生徒の保護者の方へ」と銘打った相談窓口の一覧がある。案内はどこで入手できるのか。

答

教育委員会のホームページ、学校支援課の窓口、不登校支援個別相談会で配布しています。

問

相談先がここですよ、という案内がたやすく目に入ること、支援を求めやすくなることもある。保健室や児童館、図書館、公民館等の公共施設への設置も効果的ではないかと思う。設置場所の拡充をす

問

べきと考えるが、見解は。児童生徒が目にする機会を増やす

答

ため、普段使うタブレットで周知していくことを検討しています。

問

保健室や児童館、図書館、公民館への設置が難しい理由は。紙というのは置いておくとうちやぐちやになったりするの

答

で、今はタブレットを考えています。

問

相談窓口一覧は親が見ても救いになる。再度置けない理由置くための策を伺う。

答

今後検討します。

問

フリースクール連合会から要望書が出された

答

子どもの社会的な自立を促す居場所を拡充していく必要がある。フリースクール等との協力の必要性を感じているか。

答

協力の必要性を感じています。

問

連合会から要望書が出されたと聞いた。要望への見解を伺う。

答

民間の方々からご意見を伺うことは大変ありがたいことだと考えています。

問

内容についての見解は。

答

今後検討します。検討するのはいつ、どのような場で、どなたが検討されるのか伺う。

答

その検討の場合も含めて教育部内で検討します。

問

検討事項について、教育委員会の定例会で議題にできるか伺う。

答

ここでは何とも言えません。

道の駅カビ入りどら焼きなぜリコール(回収)しないのか



北村あやこ

ともに生きる会



問

道の駅の月例報告で、「べに花どら焼きにカビの苦情があり、菓子折りを持って謝罪に行った」とある。発生の経緯と写真を。

答

写真が実際の商品で、どら焼の皮の表面に黒カビの斑点を確認しました。商品の包装フィルムが柔軟性に欠け、小さな穴が開き、空気が入ったことが原因と聞いています。

問

製造日はいつで、販売、回収は。

答

全て3月23日製造、バラとセット売りで合計120個販売し、回収したのは7個です。

問

3月31日から4月2日に、4名の購入者から連絡があり、謝罪と返金、在庫の撤去、販売休止の掲示をしました。

答

製造者は、4月1日に在庫商品を回収、4月10日に第三者機関に検査を依頼しました。

問

市は、4月21日に書面で知り、4月30日に経緯

問

の報告を受けました。なぜ公表しなかったのか。

答

購入者や製造者等への対応や開業直後の多忙さも重なり、報告、相談が遅くなり、公表ができなかったと聞いています。

問

製造日はいつで、販売、回収は。

答

全て3月23日製造、バラとセット売りで合計120個販売し、回収したのは7個です。

問

居直らないで誠実に謝罪を

答

食品衛生法では、賞味期限内ではリコール(回収)しなければならぬ。賞味期限は4月6日で、苦情から1週間あった。隠していた

問

食品衛生法では、賞味期限内ではリコール(回収)しなければならぬ。賞味期限は4月6日で、苦情から1週間あった。隠していた

食品衛生法では、賞味期限内ではリコール(回収)しなければならぬ。賞味期限は4月6日で、苦情から1週間あった。隠していた



「べに花どら焼き・斑点が黒カビ」

答

としか考えられず、悪質だ。食べてしまった人にとっても失礼だ。市は、道の駅設置者として、指導、監督の責任がある。市長は、公表し、謝罪すべきではないか。

問

このこと一つを取って何か道の駅がすごく悪のよう聞こえ、いかなものかと思えます。ただ、本来であれば、賞味期限内に報告すべきだったのではないかと思います。

答

カビの生えたものを食べさせて、そんな居直りは考えられない。誠実に謝罪して、進んでいく姿勢が必要だ。今回起きた事象はきちんと検証、反省し、今後に生かしていきたいと思っています。

一般質問の内容については、議員本人が編集したものです。

一般質問

職員の業務効率化による市民サービスの向上



柿 萌美

おけがわ未来



問

D X推進による、職員の業務効率化や市民サービス向上の成果を伺う。

答

職員の業務効率化については、テレワークシステムの導入、会議のデジタル化により、就業環境の構築や事務負担の軽減につながっています。

問

市民サービス向上については、コンビニ等で住民票や諸証明の交付、児童手当の一部申請等のオンライン化で、いつでも好きなときに行政サービスを受けることができるようになりました。

答

デジタル人材派遣などを活用した専門人材の受入れについてどのように考えるか。専門人材の受け入れについては、

問

現在の職員研修の内容はセキュリティに関する知識面の取得に寄った内容だが、業務負担軽減や業務改善につながる内容が重要だと考える。

答

今後生成AIの活用方法など、業務改善につながるスキル取得に向けた研修を行うことはできないか。

問

生成AIなどは、性能を正しく理解することで、効果が最大化されると思います。導入段階では、研修を実施したいと考えています。市民協働によるまちづくり

協働推進提案事

答

業について、申請団体や市民から寄せられている制度に対する意見や要望について伺う。

問

今まで窓口等で相談があった市民の方々からは、補助金額の増額、申請書類等の簡素化などがありました。

答

申請書類の簡素化等進めてほしい。募集期間も1か月程度と短く感じる。募集時期を早め、募集期間を長くすることは検討できないか。

問

審議会等からのご意見も踏まえ、実施に向けて検討します。近年申請件数が減少している。制度の普及と参加促進のため、ホームページの実績報告を詳細に記載し、事業の周知としてSNS等を活用した広報強化を検討できるか。

答

制度の理解と参加意欲向上のため、実績報告書のホームページへの掲載内容の充実やSNS等も活用した周知に取り組みます。

いじめ根絶に向けて加害者・被害者・傍観者を区別した指針を



渡辺 まや

新国会



問

桶川市いじめ防止等基本方針に加害者・被害者・傍観者を区別なく示している目的を伺う。

答

三者が流動的に変化をすることもあり、児童一人一人がいじめをしない能力を身につけることを念頭にしているためです。

問

海外では加害者や傍観者に特化したプログラムを活用し効果が出ているケースもある。今後活用する予定はないか。

答

研究等していき

高齢者の移動支援
免許返納者へのバス無料
券や循環バス助成対象年齢引き上げを

問

循環バスの助成対象年齢を75歳以下

問

上とする基準を伺う。後期高齢者の外出支援を目的としているためです。

答

助成対象年齢を前期高齢者である65歳に引き上げた場合の課題を伺う。

答

65歳は比較的健康な方が多いことや、財政的な課題があります。

問

免許返納者への新たな支援の考えは。

答

現在、返納者への支援として、循環バス1乗車100円の助成を行なっています。新たな支援は調査していき

問

本市が猫問題で連携している埼玉県では、不妊去勢手術を推進しているが、本市の見解を伺う。

答

今後、補助を実施する場合には、

問

本市で不妊去勢手術事業を始める場合の課題を伺う。

答

手術を行い、また元に戻しても、周辺の方々の課題はクリアできないと認識しています。

問

埼玉県内63自治体のうち51の自治体が県の補助制度や公益財団法人動物基金の制度を活用して不妊去勢手術事業を行なっており、財

答

現在、返納者への支援として、循環バス1乗車100円の助成を行なっています。新たな支援は調査していき

問

飼い主のいない猫の不妊去勢手術補助
埼玉県内63自治体中51自治体を実施

議員名の下にQRコードを掲載しました。スマートフォンなどのアプリで読み取り、各議員の一般質問を映像でご覧いただけます。

給食の未来をどう守る 無償化時代の質と量について



須山陽一郎

おけがわ未来



問 国による給食無償化の方針が示されている中、給食の質や量が低下しないようどのような対応していくのか、市の見解を伺う。

答 現時点では無償化の時期や実施方法など、具体的な情報が示されていない状況です。本市としては、無償化や国からの交付金の有無にかかわらず、引き続き適切な質と量を確保し、児童生徒に学校給食を提供したいと考えています。米不足が顕在化した場合の代替献立や栄養バランスの変化、保護者への情報提供について、市の対応を伺う。

答 今のところ米飯給食の提供に影響はありませんが、もし、代替の献立となる場合でも必要な栄養バランスを考慮した内容で提供します。

問 保護者へは給食だよりやホームページを通じて情報提供します。

問 国の給食無償化が始まった場合、本市として給食の質と量を担保する財源確保に向け、国に対してどのような予算措置を要望する予定か、市の考えを伺う。

答 保護者に負担してもらっている学校給食費に加え、物価高騰に伴う食料料金の支援も含めた金額を要望したいと考えています。

問 喫煙者の状況、ポイ捨ての実態について、市の認識を伺う。

答 路上喫煙禁止区域全域を3か月に1回パトロールしており、ポイ捨てが目立つ箇所は確認されていませんが、清掃では吸い殻が一定数収集される状況です。

問 市民からの苦情はないとのことだが、市民からの要望として、駅周辺に分煙施設設置の声などはあるか、伺う。

答 「市民の声」等で寄せられていますが、望まない受動喫煙を防ぐという観点から、人が多く行き来する駅前においては、分煙施設が必要と考える。喫煙所設置計画や分煙施設の整備方針の策定について、市の考えを伺う。

問 現時点では整備方針はありませんが、健康被害防止の観点から、今後も引き続き受動喫煙対策について調査研究します。

問 令和8年度より現在の78ある区域が、どの様になるのか伺う。

答 現在、桶川市は、自治会制度へ移行して、自治会制度に移行してもそのままの区域と考えています。

問 この区長制度の改革によって影響が多分にあるということだが、どの様な影響があるのか伺う。

答 長年、区長におかれては、行政とのパイプ役として地域との調整役を担っていただいていた。急に区長制度を変更することで、地域の意見集約や住民間の調整が難しくなることや、区長等への報償費の支給から、各

区長制度改革について



江森 誠一

新政会



問 令和8年度より現在の78ある区域が、どの様になるのか伺う。

答 現在、桶川市は、自治会制度へ移行して、自治会制度に移行してもそのままの区域と考えています。

問 自治会等への交付金として支給することとなるが、各自治会では、規約を整備する必要があるなどの影響がでてきます。任意団体の区長会が変更となるが、どの様な組織に変更されるのか伺う。

答 現段階では、各自治会の代表により構成する連合会のような団体を想定しています。詳細は区長会の役員会の意見等を伺い、検討していきます。

問 行政と自治会との連携協定書の内容について伺う。

答 市と自治会の連携及び協力の範囲として役割分担と、市からの依頼業務、防災や防犯の推進、自治会の活動支援等を協定書に明文化

することを想定しています。

問 各自治会への交付金の算定方法と、いままでの報償費に見合った交付額になるのか二点について伺う。

答 交付金の算定方法は、平等割、世帯割による方法で算定し、交付額についても、これまでの報償費の総額と同程度と考えています。

問 こども誰でも通園制度について

答 令和8年度からこのこども誰でも通園制度の実施にあたり、課題と進捗状況を伺う。

問 令和8年度から保育施設等では、日々保育の状況が変わることから、保育現場において子どもに関する情報管理や情報共有が課題と想定します。

答 進捗状況は、認可や給付に関する具体的な検討を行い、事業者や対象保護者に向けた周知等の準備をしているところです。



表紙の写真を募集中!!



『おけがわ市議会だより』の表紙に市民の皆様からの写真を募集します。
応募規定など詳しくは、隣のQRコードをスマートフォンのカメラで読み取って、ご確認ください。



定例会のお知らせ

9月定例会は、9月2日(火曜日)
9時30分開会で、会期日程は以下の
予定で調整中です。
(※都合により変更する場合があります。)

[会期日程(案)]

9月2日	開 会 日
5日	本 会 議
8日・12日	常 任 委 員 会
16日・17日	
18日・19日	一 般 質 問
22日・24日	
29日	閉 会 日

議会インターネット中継は、市ホームページから市議会の
議会中継を検索いただくか、次の検索方法又はQRコード
から検索してください。

桶川市議会スマート中継

検索



6月議会本会議傍聴者数 インターネット議会中継閲覧数

月日	6/5	13	16	17	18	20	合計
傍聴者数	1	18	3	40	2	1	65
閲覧数	164	441	508	802	129	260	2,304

桶川市議会では、ボランティアの皆さんのご協力により

声の市議会だより(紅花の会)

点字版市議会だより(点字レモンの会)

を作成しています。

利用を希望される方は、議会事務局までご連絡ください。

TEL 786-3211(代表)

788-4963・4964(直通)

表紙の写真

小針領家のささら獅子舞

(市指定無形民俗文化財)

この獅子舞は、かつて「領家のささら」と近郷
でも親しまれていましたが、昭和34年(1959)を
最後に一度途絶えました。しかし、復活に向けた
活動が開始され、困難を乗り越え平成14年
(2002)に復活しました。主に4月と9月の氷川諏
訪神社の祭礼で披露されています。

編集後記

「べに花の郷おけがわ」
が開業して4ヵ月、連日
の大盛況とテレビ、ラジ
オ等のマスコミ報道で桶
川市の知名度もアップし、
楽しい話題に嬉しくなり
ます。ただ開業当初です
から、今後の動向はかな
りの努力が必要です。お
客様に喜ばれ、おもてな
しの心で迎える桶川市民
です。

また、この道の駅は、
「防災道の駅」に認定さ
れています。大災害の時、
圏央道・荒川・本田エ
アポートに近く、単なる観
光施設ではなく、防災の
拠点です。

(佐藤 洋)

議会だより編集委員会

委員長	にいつま亮
副委員長	浦田 充
委員	渡邊 広美
委員	渡邊 まや
委員	砂川 和也
委員	榊 萌美
委員	佐藤 洋
委員	渡邊 光子